

関東米粉食品メールマガジン

第154号 26. 1. 27 【毎月1回発行】

(18.7.20 創刊)

関東米粉食品メールマガジンは、**関東米粉食品普及推進協議会**が、会員の皆様から寄せられた様々な情報をもとに、米粉の利用拡大のために情報発信しています。



📌 目次

- <1> 取組事例の紹介
- <2> “米粉”イベント情報&案内
- <3> 各都県事務局からのお知らせ
- <4> その他のお知らせ



< 1 > 取組事例の紹介

○埼玉県米粉利用食品推進連絡会第3回実行委員会を開催<埼玉県>

埼玉県米粉利用食品推進連絡会は、1月16日(木)、同連絡会会長および会員4名からなる第3回実行委員会を開催しました。

同会では、米粉米級グルメ王座決定戦を始めとした各種イベントや、福祉サービス事業所への米粉無償提供、米粉料理教室の開催など、25年度の取組状況について報告の上、26年度の取組方針についての検討を行いました。

その結果、26年度についても連絡会の意思決定機関として、会員からの応募により実行委員会を組織することとし、米粉米級グルメ王座決定戦開催をはじめ各取組を通じて、米粉のPRと利用拡大を推進していくことを決定し、閉会しました。

○大手町の「緑提灯」五つ★の和食店で米粉ピザが好評！<東京都>

大手町駅に直結する大手町カンファレンスセンターの地下1階に、**活菜厨房【和食】然 大手町店**(とうきょう米粉ネットワーク会員)があります。

店名は「自然」の「然」を表しており、食材に国産品を90%以上使用した※「**緑提灯**」五つ★の店です。

人気メニューの「米粉ピザ」は5種類を用意。熊本県菊池市産の無農薬米を原料とした米粉を使用し、表面はカリッと香ばしく中はモチツとして、米粉ならではの食感が味わえます。

店長の小山さんは「今後は、カレーのナンやパスタの原料として米粉の利用を展開していきたい」と語ってくれました。



※「緑提灯」

平成17年、東京農業大学の丸山清明教授(元農研機構・中央農業総合研究センター所長)が提唱し、食料自給率を上げ、日本の農業を元気にしようと、北海道を皮切りに始めた運動で、カロリーベースで日本産食材の使用割合が50%以上の店舗について、★印が入った緑提灯を掲げるものです。

日本産食材の使用割合に応じて★が増え、90%以上の場合には最高の五つ★が入ります。

HP: <http://midori-chouchin.jp/>



◀人気の「米粉ピザ」

焼豚と玉子のピザ▶



◀テーブル席とカウンター席の店内

シックで家庭的な店舗入口▶



活菜厨房【和食】然 大手町店

■住所 千代田区大手町 1-3-2 大手町カンファレンスセンター B1F
地下鉄千代田線大手町駅より徒歩2分

■営業時間 月～金
ランチ 11:20 ～ 15:00
ディナー 17:00 ～ 23:20
土 17:00 ～ 22:00

■休み 日曜日・祝日

■TEL 及び FAX 03-6269-9800

< 2 > “米粉”イベント情報&案内

◇消費生活展で米粉食品を販売！！(東京都)

東京地域センターは、以下のイベントに出展し、「東京米粉マップ」等の配付など、米粉利用拡大に関する情報提供を行います。

あわせて、**とうきょう米粉ネットワーク会員**が、米粉・米粉食品の試食・販売等を行います。

八王子市消費生活フェスティバル

日時:平成26年2月1日(土) 10:30~17:00

会場:クリエイトホール5階(八王子市東町5番6号)

JR八王子駅北口から徒歩4分、京王八王子駅から徒歩4分

※**株式会社マゴメ**が、米粉パン・米粉洋菓子等の試食・販売を行います。

品川区消費生活展

日時:平成26年2月15日(土) 10:00~16:00

平成26年2月16日(日) 10:00~16:00

会場:品川区立総合区民会館「きゅりあん」(品川区東大井 5-18-1)

JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線「大井町駅」から徒歩1分

※**まいどーなっつ(株式会社アストナ)**が、米粉ドーナツの試食・販売を行います。

江東区消費者展

日時:平成26年2月22日(土) 10:00~16:00

平成26年2月23日(日) 10:00~15:30

会場:パルシティ江東(江東区扇橋 3-22-2)

都営新宿線・東京メトロ半蔵門線「住吉駅」から徒歩12分(A4、B1出口)

都バス扇橋2丁目から徒歩6分、扇橋3丁目から徒歩3分

※**まいどーなっつ(株式会社アストナ)**が、米粉ドーナツの試食・販売を行います。

◇ **こっけんクッキング「米粉食品指導員認定スクール」&「米粉講座」開催！(東京都)**

一般財団法人日本穀物検定協会こっけんクッキングで開催されている「米粉食品指導員認定スクール」では、受講生を募集しています。

このスクールでは、各地域での米粉食品の普及推進を図る指導員の育成を目的としており、「米粉パンコース」と「米粉ケーキ・調理コース」の2講座があります。各コースにおいて米粉の知識から製粉機器・実技講習まで行い、指導員としての知識を習得できます。

全課程を終了し、最終日の筆記・実技試験に合格した受講生には、日本穀物検定協会から指導員の認定書が交付されるほか、卒業後にも各種スキルアップ講座により、さらに技術を磨くことができます。

また、はじめて米粉を使う方から、米粉パンや米粉パスタなどのレパートリーを増やしたい方まで、幅広い層に対応した「米粉講座」を随時開催し、米粉の普及推進を図っています。

お申込み・お問合せは、日本穀物検定協会こっけんクッキングまでお願いします。

●お問合せ先

一般財団法人日本穀物検定協会 こっけんクッキング
東京都中央区日本橋兜町15-6 製粉会館2階
TEL：03-6661-9381 FAX：03-6661-9382
URL：<http://www.kokken-ryori.jp/>

< 3 > 各都県事務局からのお知らせ

□米粉料理教室の講師募集！！(埼玉県米粉利用食品推進連絡会)

最近の米粉への関心の高さから、米粉料理教室が各地で開催され、埼玉県米粉利用食品推進連絡会にも講師派遣依頼のお問合せをいただいております。

家庭での米粉の利用拡大につなげることを目的に、当米粉連絡会においても講師をお引き受けいただける会員の皆様に登録をしていただきたいと思いますと考えております。

つきましては、下記のとおり講師をお引き受けいただける方々の募集をいたしておりますので、ふるってのご登録お待ちしております。

●募集の案内はこちらからご覧いただけます(PDF形式ファイル)。

http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/saitama/pdf/koushi_panfu.pdf

□米粉に関する情報をお寄せください！(埼玉県米粉利用食品推進連絡会)

埼玉県米粉利用食品推進連絡会では、会員の皆様はじめ米粉に関心のある方から広く情報を寄せていただき、ホームページ、メールマガジンなどを通じて発信していきたいと考えております。

これまで以上に情報をいただくために下記のとおり「**米粉情報連絡表**」を作成しましたので、ご利用いただき、事務局あてメール、FAX等でどんどんお知らせください。

●連絡表の様式は下記リンクからダウンロードできます。(エクセルファイル)

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/saitama/index.html#renraku>

< 4 > その他のお知らせ

○社員食堂等における国産農林水産物・食品の活用促進のお願い

農林水産省では、農林水産業の成長産業化に向けた農業界と経済界との連携推進のひとつとして、国産農林水産物・食品の需要の拡大を促すため「企業の社員食堂における国産農林水産物・食品の活用促進」をお願いしております。

会員の皆様におかれましても、ご周知いただき、各事業所等でのご協力をお願いいたします。

一般社団法人日本経済団体連合会会長 殿

日本商工会議所会頭 殿

公益社団法人経済同友会代表理事 殿

農林水産大臣 林 芳正

農林水産業の成長産業化に向けた農業界と経済界との連携の推進について

時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

貴会におかれましては、日頃より、農林水産行政につきまして、御理解と御協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、東日本大震災からの復興に向け、被災地産の農林水産物・食品の消費拡大に積極的に取り組んでいただいていることに対しましても、重ねて感謝申し上げます。

さて、我が国の農林水産業の成長産業化については、「日本再興戦略」(平成25年6月14日閣議決定)にも位置づけられる喫緊の課題であり、安倍内閣総理大臣が主導する「農林水産業・地域の活力創造本部」における検討をはじめとして、政府全体で全力を挙げて取り組んでいるところです。

「攻めの農林水産業」の施策の具体化に取り組み、農業・農村の所得の倍増を目指してまいります。これらの取組を進めるためには、他産業の知識やノウハウの活用が必要であり、農業界と経済界の連携をこれまで以上に進めていきたいと考えております。

具体的には、当省の施策としても、農用地の利用の効率化や高度化を促進するための農地中間管理機構の整備や国家戦略特区における農業生産法人要件の緩和等を通じて、地域の担い手のみならず、農業に参入する企業のカも活かしながら、農業経営の規模拡大を進めるとともに、ロボット技術やICTを活用した「スマート農業」の実現に向けた検討を行うほか、農業法人と企業の連携による先端モデル農業の確立や次世代施設園芸の導入、先端技術の大規模実証研究等についても推進していくことを考えております。

更に、農林漁業成長産業化ファンドの本格展開や「医福食農連携」を進めるとともに、我が国の「食文化・食産業」の海外展開及び日本の農林水産物・食品の輸出を一体的に推進するほか、食品ロス削減国民運動も展開していく等、多種多様な側面で農業界と経済界の英知を結集し、生産面における効率化・高付加価値化や、需要面における新たなニーズの開拓を進め、我が国の農林水産業の成長産業化を実現させていきたいと考えております。

こうした農林水産業の成長産業化に向けた農業界と経済界との連携の推進については、両業界の発展のみならず、我が国経済全体の活性化にも資すると考えており、貴会及び貴会員企業にも両業界の連携への参画を広く呼びかけていただき、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

また、国産農林水産物・食品に対する需要の拡大を促すため、各府省庁や企業の職員食堂や社員食堂における国産農林水産物・食品の活用を進めていきたいと考えており、経済界においても、これまで企業の社員食堂における国産農林水産物・食品の活用促進に向けた独自の取組を進められているものと承知しておりますが、この点につきましても、貴会及び貴会員企業にも御周知いただき、引き続き御協力を宜しくお願いいたします。

○国産応援ポイントプログラム「こくポ」に係る説明会の開催について

農林水産省では平成24年度以来、消費面から食料自給率の向上を図る取組として、国産応援ポイントプログラム事業を「こくポ」という名称のもと、実施しているところです。

「こくポ」は、対象となる国産食料品等を購入することでポイントが付与され、抽選で国産食材が当たるシステムで、現在流通業者をはじめ、食品メーカー、地域小売店舗、通販サイト、直売所、旅館など、様々な業種の事業者が参加しております。

26年度も引き続き本事業を実施することが決定しましたので、さらに多くの事業者様に参加をいた

だけるよう、以下のとおり関東ブロックの説明会を開催いたします。ご多忙とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

お申し込み、お問い合わせについては、下記までお願いいたします。

記

1. 日 時：平成26年3月12日(水) 13:30～ (所要1時間程度)
2. 場 所：農林水産省北別館8階 共用第9会議室(No. 北803)
住 所：東京都千代田区霞が関1-2-1
3. お問い合わせ先
： 国産応援ポイントプログラム「こくぽ」事務局
TEL：03-5859-0248
[事務局受付時間]10:00～17:00(土・日・祝日を除きます)
メール：info@kokupo.jp
4. 「こくぽ」ホームページのご案内
： <http://kokupo.jp/pc/index.html>



○「食べて応援しよう！」の取組について

関東農政局では、東日本大震災の被災地産の食品を積極的に消費することによって、産地の活力再生を通じて被災地の復興を応援するため「食べて応援しよう！」を共通のキャッチフレーズに、さまざまな取組の呼びかけを行っております。

ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

・関東農政局PR用リーフレット(PDF形式)(関東農政局HP)

http://www.maff.go.jp/kanto/ouen/pdf/tabete_ouen.pdf



●米粉食品に関する情報は・・・

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/komekojouhou/>

●関東米粉食品普及推進協議会を募集！「各都県協議会事務局まで」

<http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/kyougikai/>

●FOOD ACTION NIPPON「米粉倶楽部」公式サイト

<http://www.syokuryo.jp/komeko/>

●皆様のご意見・ご質問、ご要望をお待ちしています！！

関東米粉食品普及推進協議会事務局（関東農政局 生産部生産振興課内）

TEL : 048-740-0100（直通）

FAX : 048-601-0533

E-Mail : komeko@kanto.maff.go.jp

*メルマガバックナンバー ⇒ <http://www.maff.go.jp/kanto/syokuryou/syouhi/sin-komeko/merumaga/>